

研究課題名	病的肥満症患者の病態解明研究 後ろ向き多施設共同研究
研究期間	実施許可日 ～ 2035 年 12 月 31 日
研究の対象	2014 年 1 月～2029 年 3 月の間に広島大学病院「病的肥満患者における免疫細胞の機能評価 (E2016-0611)・「消化器癌研究のためのデータベース登録 (E2014-0922)」もしくは、2014 年 1 月～2030 年 12 月の間に岩手医科大学病院「高度肥満症患者を対象とした腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の代謝改善効果に関する検討 ―TGF- β 経路の活性変化について― (MH2022-056)」において同意が得られた患者さん
研究の目的・方法	近年、肥満の有病率は全世界で急激に増加しており、2016年には世界人口の約13%が肥満であるとWHOが報告しています。肥満の増加は、2型糖尿病、脂肪性肝疾患、高血圧、冠動脈疾患、脳卒中、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、運動器疾患など、多くの健康問題と関連しており、肥満症の疫学研究は今後も重要な分野となっています。 肥満の成因は生活習慣だけでなく、遺伝的要因、心理社会的・社会経済的要因、胎児期または出生後の栄養状態などが関与していますが、肥満状態では脂肪細胞が過剰に蓄積されることによりホルモン、免疫細胞、サイトカイン・ケモカイン、腸内細菌叢などが変化し、代謝性疾患(臓器連関)や減量効果に影響を与えることが明らかになっています。 本研究では、多施設での減量代謝改善手術を施行した患者を対象とし、診療情報やすでに採取された血液、手術検体の試料を用いて、広島大学病院および岩手医科大学において、肥満の成因、肥満状態での慢性炎症の誘導機構、肥満と代謝性疾患との関連(臓器連関)を解明します。これにより肥満症の病態生理を明らかとし、新たな肥満症治療へ繋げることを目的とします。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：カルテ情報（身長、体重、性別、血液検査、手術情報など） 試料：先行研究で提供いただいた試料（末梢血、脂肪組織） 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
利用または提供を開始する予定日	2025 年 3 月 26 日（実施許可日）以降
個人情報の保護	各機関において、試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	試料・情報は広島大学病院と岩手医科大学において共有いたします。試料・情報はパスワード設定したエクセルデータをメール送信

	または、特定の関係者のみアクセス可能なクラウド（Nextcloud）で共有します。
研究組織	研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科 教授 大段秀樹 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 共同研究機関 岩手医科大学医学部外科学講座 教授 佐々木章 研究機関の長 岩手医科大学医学部外科学講座 教授 佐々木章
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5222 広島大学病院防府消化器病センター内視鏡外科講座 職名 助教 佐伯 吉弘